

平成 27 年度座談会「町長と語ろうまちづくり」（生涯学習センター）

| | | |
|-------|--|------|
| 開催日時 | 平成 27 年 11 月 17 日（火）午後 7 時から午後 9 時 | 天気 雨 |
| 場所 | 生涯学習センター | |
| 町民参加者 | 男 26 人 女 8 人 （40 代以下 0 人、50 代 6 人、60 代以上 28 人） | |
| 町出席者 | 町長、副町長、教育長、参事兼企画財政課長、総務防災課長、保険健康課長、定住対策室長、生涯学習課長、事務局 2 人 | |

出席者から出された主な意見や提案

《テーマ：町政全般》

- 川村小学校や山北中学校等が広域避難所になっており、マップでは災害警戒区域になっている。広域避難所が圧倒的な土砂が来ても大丈夫な設備を持っていればともかく、想像を絶する土砂が来るかもしれない場所に避難をしてそこで被災したらどうするのか。
- 毎年 8 月末に防災訓練を行っているが、毎回消防団が来て消火訓練や簡易担架訓練などを行っている。これ自体は悪くはないが、災害はそれだけではなく、土砂災害や火山、地震、洪水等があるため、毎年想定する災害の種類を変えて、それに応じた訓練を行えないか。実地でやるのは難しいかもしれないので、座学で専門家を呼ぶなどではどうか。
- 城山地区には沢が 2 つあり、過去の事例で言うと家が埋まるほどの土石流があった。この防災マップに載っていないが、城山から役場までの大きな警戒区域があるはず。山北町で独自で作るのであれば、もう少し地域に密着した内容で細かく作り直してもらいたい。
- 急傾斜地の資料と土石流の資料とで別々ではなく、一つにまとめた形で作ってもらいたい。
- スマートインターチェンジを新東名高速道路に設置することを決定して、スマートインターに対してどれだけの経済効果が生まれて、道路に対する町の維持管理がどのように処理されていくのか、どういう計画であるのか教えてもらいたい。
- 河村城址の公園整備について、いつが完成で、いつから活用できるか教えてもらいたい。
- 選挙権が 18 歳で付与されることになるが、どこも政治に対する興味が薄れている。そのこともあり、町議会の本会議をネット配信してもらいたい。

○空き地、空き家、耕作放棄農地について、生活環境に悪影響を与えている。山北町として空き地、空き家、耕作放棄農地について住民の生活環境を悪くしない対策として何か考えているのか。

○所有者については、納税している人がいるので行政はすぐにわかると思う。見つかった後にどうするかは個人の財産なので、強制執行となると撤去費等の問題もある。近隣住民が生活に支障をきたす枝葉を切れれば、場合によっては賠償問題に発展することもあるので、それを考えると行政にお願いするしかない。

○毎年、土地について賃貸で耕作するかや売買を希望するかなどのアンケートを取っているが、それを活用し、放置農地も売買できるものなら、買いたい人がいれば買ってもらい、耕作したい人には耕作してもらおうなどを奨励してもらいたい。

○町は大きなものを作るときには当然最終的な目標であるとか、5年後はどうなるのか、10年後はどうなるのかといったグランドプランが不可欠だと思う。現在山北町には5年後、10年後こういう町になっていくといったものはあるのか。

○10年後の山北町がどういう町になるのか。どうとでもとれるキャッチフレーズであれば、そういったものを町民が参加しながら形作っていく、町民の意見を集約する場が必要だと思う。

○都内の職場に行くのに非常に不便な町である。朝はいいが、帰りは遅くまで仕事をすると、帰って来るのに電車やバスが無い。

○トヤマが竣工したが、何をやっているか気になったため10月に工場見学会に行った。役場がどの程度聞いているか知らないが、核融合関連実験装置というものを作っている。実際には測定器を作っているが、恐らく実験をして納めていると思うがその辺については説明を受けたのか。